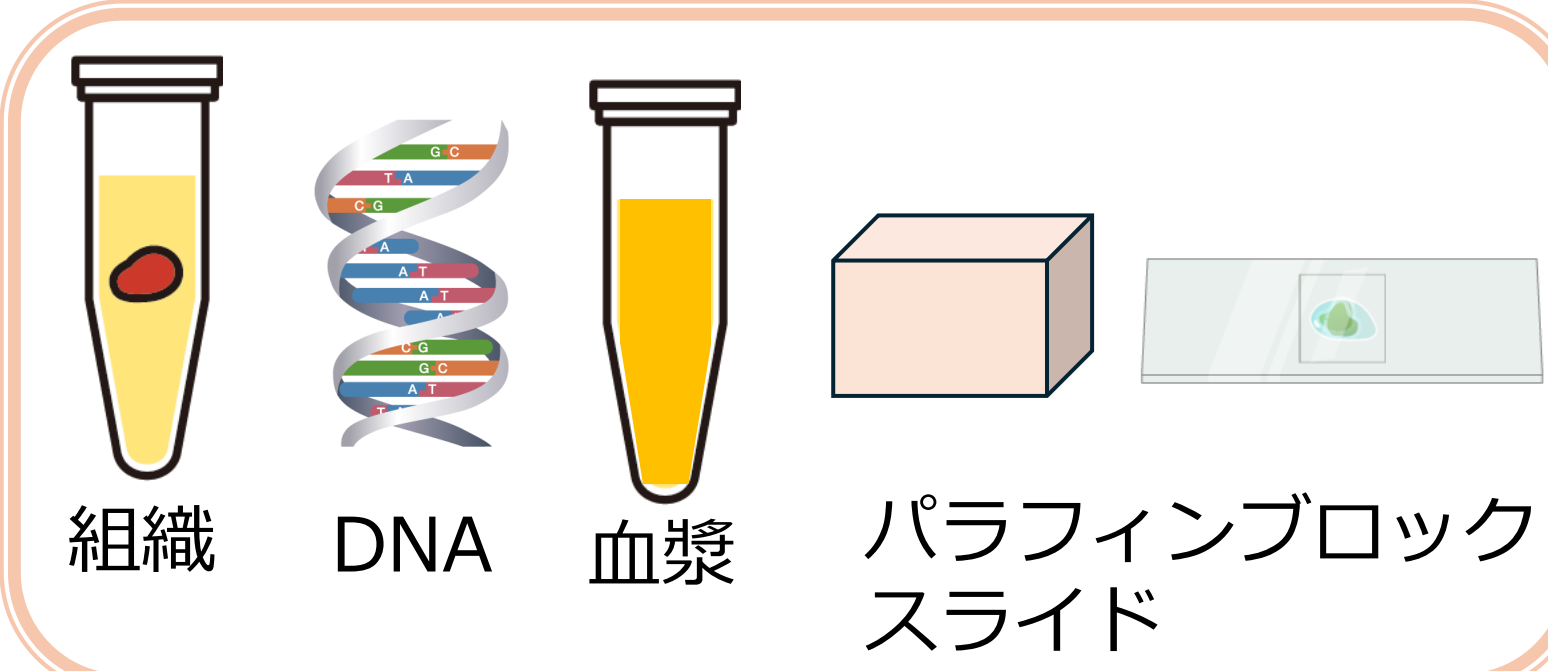


生体試料をワンストップで活用したい方↓

KBBMが京都大学との窓口に！

- ・アカデミアとの共同研究契約・MTA契約不要
- ・オンデマンドの前向き採取で新鮮検体入手も可能
- ・倫理審査は可能な限り簡便化

* 共同研究契約が必要な場合もあります



Want !

開発薬剤の有効性検証
標的分子の探索検証
薬理評価系の構築
に用いたい！

病態メカニズム
を解明したい！

診断薬の開発評価
バイオマーカーの
探索検証に用いたい！



【利用例】

研究目的	生体試料	クライアント
がん遺伝子パネルの開発	血液検体（健常人）	海外ベンチャー
がん診断プログラムの開発	血漿検体 （がん患者・健常人）	情報系ベンチャー
体外診断用医薬品の開発	血液由来DNA	診断薬メーカー
デジタルPCRプライマー/ プロープライブラリの検証	FFPE	アカデミア
がん標的分子の探索・検証	がんオルガノイド	製薬メーカー

KBBM
Kyoto Bridge for
Breakthrough Medicine



Q. 生体試料利用までの流れと期間は？

答え

KBBMが提供するワンストップサービス



生体試料の払出が最短6カ月で可能

Q. 開発品に使用したい。品質などは大丈夫？

答え

「特徴.1」 生体試料の品質

世界標準の生体試料品質基準であるSPRECに準拠
病院併設型のバイオバンクとして、
初めてJIS Q 20387(国際規格ISO 20387) の認定取得

「特徴.2」 臨床情報の質と量

生体試料に紐づく臨床情報、検体管理・品質情報などを
統合データベースとして一元管理

バイオバンクの設置・運営に興味のある方↓

セントラルバイオリソースアライアンス構想

presented by

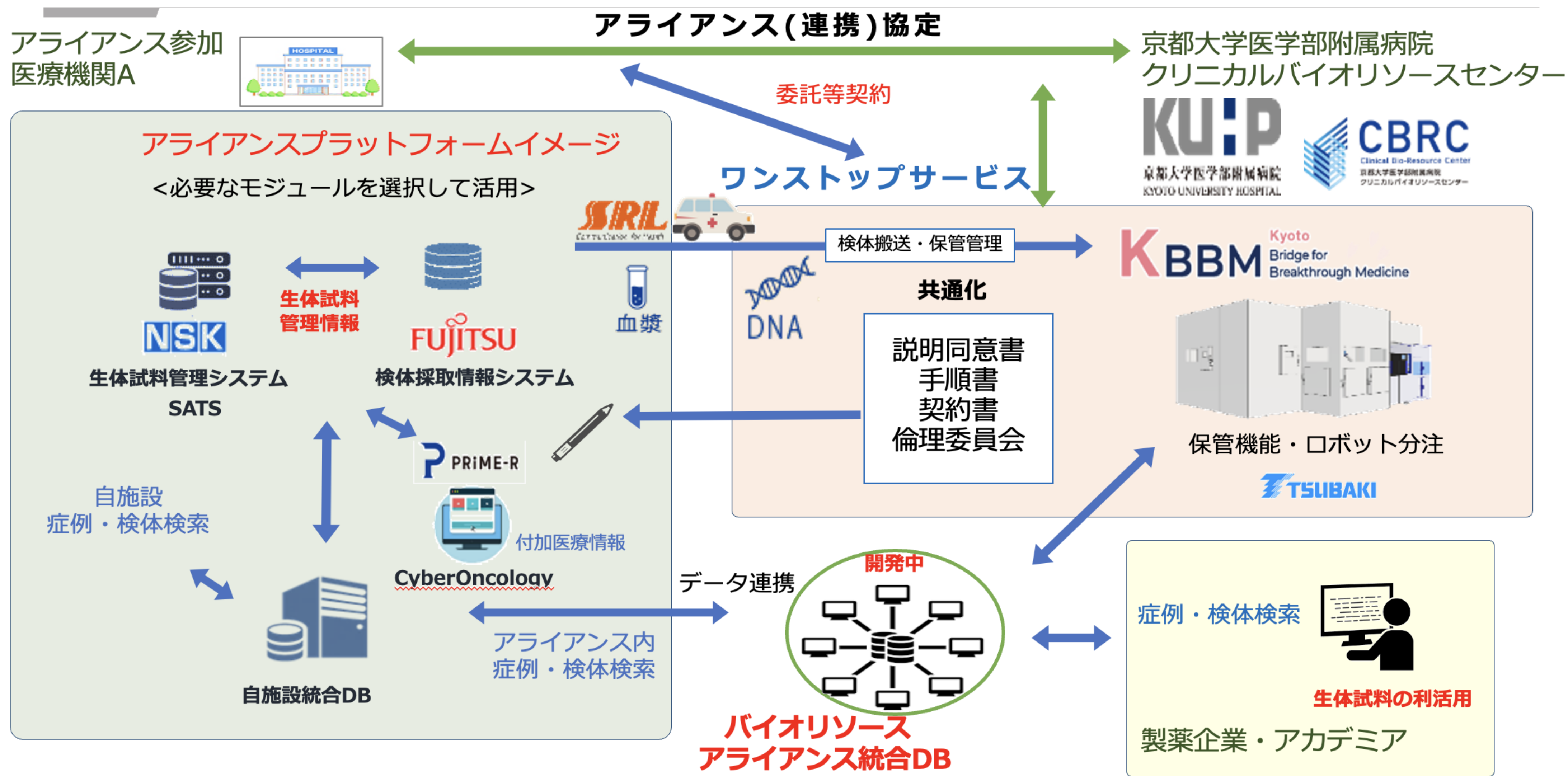
- ・CBRCと全国のバイオバンクの連携を実現
- ・バイオバンク運営のノウハウを通じ、
がん診療・研究の強みを各連携施設へ共有・共通化
- ・連携施設が低コストでバイオバンクを設置/運営



主な参画メリット！

1. 生体試料の利活用を促進
2. 生体試料と臨床情報を紐づけたデータ管理を実現
3. 品質情報、採取情報(精度の高いデータ)の共有化
4. システム共通化によるコスト抑制を実現
5. ドキュメント・運営フロー共有
6. 契約スキーム統一化、倫理審査委員会一本化

京都大学を中心としたセントラルバイオリソースアライアンスイメージ全体像



生体試料の利用手続きに関する動画をHPにて公開中！ → →

お問い合わせはこちらまで contact@kyoto-bbm.com

